

社保シリーズ

# 歯周病安定期治療(SPT)

4

社保研究部

歯周治療のメンテナンスにSPTがある。2010年4月の改定で、3年間の期間区分と漸減点数が廃止され、300点に統一された。以下、ルールについて症例で解説する。

### 症例解説

SPTとは、中等度以上の歯周疾患患者の一連の歯周治療が終了し、一時的に病状が安定している状態を維持するための継続的な治療のこと。歯管の算定が前提で、1口腔につき月1回に限り算定する。

「中等度以上」と「一時的な症状安定」の定義は下記のとおりだが、前歯部にP<sub>2</sub>がある場合は、根分岐部の状態は考慮しなくて良い。

**SPTの適用となる中等度以上の症状**  
骨吸収が根の長さの3分の1以上  
歯周ポケットが4mm以上  
根分岐部病変(軽度を含む)を有する

#### 一時的な症状安定

歯周組織の多くの部分は健康だが、一部分に病変の進行が停止し病状が安定している

- ・深い歯周ポケット
- ・根分岐部病変の残存
- ・歯の動揺が認められる状態

SPTの治療内容は、プラークコントロール、咬合調整、機械的歯面清掃、SC、SRPなどが主体となる。

SPTの算定開始にあたっては、歯管の管理計画書に歯周組織検査の結果の要点やSPTの治療方針などを記載し文書で提供し、写しをカルテに添付する(8/17)。

SPTを開始した日以降は歯周基本治療(SC, SRP, PCur)およびP基処、P処はSPTの所定点数に含まれ別に算定できない(8/17)。また、歯清はSPTの算定日と日を異にして行った場合は算定できる。

SPTを開始した後、病状の変化により必要があって歯周ポケットに特定薬剤を注入した場合や暫間固定した際の費用は、別に算定できる。なお、P処の費用は算定できない(1/28)。

2回目以降のSPTは、前回実施した月から起算して4カ月目以降に算定する(11/16)。ただし、重度の歯周疾患などで歯周外科手術を経た後からSPTを実施する場合は、1カ月ごとに算定できる(3/25)。

SPTを開始した日以降に病状の変化に応じて歯周外科手術を行った場合は、所定点数の30/100で算定する。症例はGTR。その際、SPTの算定はいったん中止し、歯周外科手術後の歯周精密検査で病状が安定していることを確認したうえで、算定を再開する(3/25)。

SPT開始後は基本治療およびP基処、P処の算定は不可。

歯周外科を経していないSPTは、3カ月間隔(SPT実施月から数えて4カ月目)で実施する。

SPT実施後、P急発で特定薬剤を注入した場合、P処は算定できないが、特定薬剤料は算定できる。

GTRの実施前にはX-Rayによる診断が必要。

SPT実施後の歯周外科は算定できるが30/100の点数になる。

歯周外科後のSPTは、月1回算定できる。管理計画内容に変更があったときは文書提供する。

部位	傷病名	診療開始日
7-7 3+2	P <sub>1</sub>	平成22年4月1日
7-4   3-7	P <sub>2</sub>	平成22年4月1日
6	P急発	平成23年1月28日
〔年齢〕52歳女性		
〔主訴〕奥歯が腫れていた		
〔所見〕下顎臼歯部に発赤と腫脹を認む。6骨縁下ポケット著明。		

月日	部位	療法・処置	点数
8/17		再診 ※P外科なし	42
	7-7 7-7	P精検(検査結果略)	400
		歯管(文書提供)	110
		症状の一時安定を認む。SPT計画の同意を得る。	/
		SPT(1回目)	300
		P基処(J)	/
		歯清	/
8月分 1日分 852点			
11/16		再診	42
	7-7 7-7	P精検(検査結果略)	400
		歯管(文書提供)	110
		SPT(前回8月)	300
		SC	/
11月分 1日分 852点			
1/28		再診	42
	7-7 7-7	歯管	110
		歯清(前回H22年6月)	60
	6	P処(P急発)	/
		ペリオクリン0.5g 1シリンジ	59
1月分 1日分 271点			
2/3		再診	42
	7-7 7-7	P精検(検査結果略)	400
	6	X-Ray(D) 1F	48
		遠心側に3壁性の骨欠損を認む。	/
		歯管(文書提供)	110
		症状悪化に対する歯周外科実施の同意を得る。	/
2/10		再診	42
	6	浸麻(OA+歯科用キシロカインCt. 1.8ml)	/
		GTR(1次手術) (730×30/100)	219
		歯周組織再生材料(吸収型)	900
		人工骨填入(ポージェクト1g) (110+648)	758
		処方せん(内容略)	68
2/25		再診	42
	6	抜糸	/
2月分 3日分 2,629点			
3/25		再診	42
	7-7 7-7	P精検(検査結果略)	400
		歯管(文書提供)	110
		症状の安定を認め当面1カ月間隔でSPTを再開	/
		SPT(前回H22年11月)	300
		SC	/
3月分 1日分 852点			